

官報

號外 昭和十二年三月二十八日

○第七十回 貴族院議事速記録第二十五號

昭和十二年三月二十七日(土曜日)午前十時
二十三分開議

議事日程 第二十六號
昭和十二年三月二十七日
午前十時開議

第一 臨時租稅增徵法案(政府提出、衆議院送付)
第二 法人資本稅法案(政府提出、衆議院送付)
第三 外貨債特別稅法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマ
ス書報告 會議(委員長報告)

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマ
ス書報告 會議(委員長報告)

臨時租稅增徵法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬
昭和十二年三月二十五日
委員長 子爵渡邊 千冬

貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬
昭和十二年三月二十五日
委員長 子爵渡邊 千冬

○議長(公爵近衛文麿君) 只今議題ドナリマシタ
臨時租稅增徵法案案外五件ニ付キマシテ、委
員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲタイト
思ヒマス、御承知ノ通り此ノ法律案ハ二億
六千九百餘萬圓ノ増稅ヲ實現スモノデア
リマシテ、國民負擔ニ極メテ重大ナル關係
ヲ有スルモノガアルノデアリマスカラ、委
員一同ハ非常ナル熱意ヲ以テ十分慎重ニ審
議ヲ重ねタノデアリマス、即チ去ル三月十
八日此ノ法律案ガ三點ノ修正ヲ受ケマシテ
衆議院ヨリ本院ニ送付セラレ、翌十九日ノ
本會議ニ上程セラレマシテ委員付託トナック
ノデアリマスルガ、委員會ハ同日直チニ第
一回ノ會合ヲ開キマシテ、大藏大臣ヨリ提
案理由ノ説明ヲ聽取致シマシタ、爾來連
日、午前午後ヲ通ジテ委員會ヲ開キ、大臣、
内務大臣、農林大臣及大藏省、内務省、農林省
ノ政府委員トノ間ニ殆ド委員諸君ノ全部ガ熱心ナ質疑應答ヲ交換セラレ
タノデアリマス、今其ノ質疑應答ノ主ナル
モノヲ申上ゲマスレバ、先づ總括的ノモノ
ト致シマシテハ、政府ハ次ノ稅制改正ヲ如
何ナル方針デ行カト云フ質問ニ對シマシ

法案、日程第六、明治四十年法律第二十一
號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ六案ハ
一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマ

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十二年三月二十五日
貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬

貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬

貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬

第三回便物認可

明治四十年法律第二十一號中改正法律
案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十二年三月二十五日
貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬

貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬

貴族院議長公爵近衛文麿殿 千冬

テ、政府ハ、今回ノ増稅ハ臨時的ノモノデ
アリ、更ニ次ノ機會ニ於テ中央、地方ヲ通
ズル根本的ナ稅制ノ改正ヲスル意圖ヲ有ス
ル旨ノ説明ヲ致シ、更ニ其ノ際ニハ主トシ
テ稅制ノ改革ニ主眼ヲ置キ、增稅ニナルモ
ノモアルカモ知レナイガ、是ダケ增稅ヲヤッ
タ後デアルカラ、此ノ上負擔ヲ加重スルコ
トヲ目的トスルヤウナ改正ヲスルノデハナ
イト云フコトデアグタノデアリマス、次ニ增
稅ト物價トノ關係ニ付テ增稅ノ結果、物價
騰貴ヲ招來スルノデハナイカト云フ質問ニ
對シマシテハ、政府ハ物價ノ騰落ハ各種ノ
原因カラ起ルノデアグテ、今度ノ增稅ノ爲ニ
物價ガ騰ルモノトハ思ヘヌト云フ答辯ヲサ
レタノデアリマス、次ニ增稅ガ産業ニ及ス
影響ニ關シマシテ、今回ノ増稅ハ急激ニ過
ギ、殊ニ法人ニ重課シテ居ルノミナラズ、
株主配當ニモ増微ヲナシ、延イテハ産業ノ
發達ヲ妨ゲ、企業心ヲ萎縮セシメ生産力ノ
低下ヲ來スモノデハナイカトノ繰返サレタノデ
質問ニ對シマシテ、大藏大臣ハ總テ經濟界ノ
コトハ增稅ニ限ラズ、急激ナルコトハ禁物
デアル、今度ノ程度ノ增稅ハ産業ノ發展ヲ阻
害シナト思フ、又一方ニ於テ生産力ノ擴充
ニ依ツテ產業ハ發展スルノデアルカラ心配
ハナイト思フケレドモ、次ノ改正ノ時ニハ
是等ノ點ヲ能ク注意スルト答ヘラレタノデ
アリマス、更ニ今回ノ增稅ハ株式ニ重壓ヲ
加ヘ、國債ヲ優遇シテ居ルカラ、資金ハ產
業界ヘ行カナクナルノデハナイカト云フ質
問ニ對シマシテハ、最近ノ株式界ノ情勢ノ
如キハ、增稅ガ既ニ織込マレテ居ルニ拘ラ
ズ、餘リ活況ヲ呈シ過ギルトモ見エル程デ
アル、元來國債ト株式トハ自ラ投資スル人
ノ心持ガ違フノデアグテ、株式ノ價格ノ高低
ハ利廻リ計算バカリデハ行カナイ、今回ハ
國債ニモ所謂稅ヲ掛ケルコトニ致シタノデ
アリマシテ、株式ニノミ殊ニ重課シテ國債
ヲ優遇シタノデハナイト云フ答辯デアリマ

シタ、次ニ属ニ問題トナリマシタノヘ、都市ニ關スル問題デアリマシタ、都市ニ於テハ軍需景氣等ニ惠マレルガ、農村ヘ其ノ恩惠ヲ受ケルコトガ比較的薄ク、一方間接稅ノ増徴ニ依ル影響ハ都會地同様ニ受ケル、是ハ餘程考ヘネバナラヌデハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ十分検討シテ眞ノ負擔ノ均衡ヲ圖リタイト答ヘマシタ、之ニ關聯シテ地方交付金ノ問題ニ付キマシテハ、今回ハ應急的ノ措置ヲ採ツクノデアルガ、此ノ次ハーツ根本的ニ能ク考ヘテ、交付金ノ制行クベキモノデアルカ、十分研究スルト申サレタノデアリマス、又動産、不動產トノ負擔ノ均衡ニ關シマシテハ、政府ニ於テモ一方有價證券移轉稅ノ創設ニ依リテ一步ヲ進メタノデアリマスガ、尙他方不動產ニ對スル登録稅ノ引下ヲナゼ實現シナカッタカ、農村ノ土地ニ對スル課稅ニ付キ、殊ニ考慮スル積リハナイカニ等ノ極メテ熱心ナル質問ガアリマシテ、政府ハ之ニ對シ登録稅ノ引下ハ地方ニ於ケル不動產取得稅ト併セテ考ヘナケレバナラナイカラ、次ノ稅制改正ノ際ニ能ク考ヘル、農村ノ土地ニ對スル課稅ニ付テモ十分研究シテ見タトイト云フコトデアリマシタ、次ニ歲出ノ膨脹ヲ抑ヘル爲ニ、國防費以外ノ經費ニ付テハ出來ルダケ緊縮ヲ圖ラナケレバナラヌト思フガ如何ト云フ質問ニ對シマシテ、組合ニ對スル課稅ノ問題、租稅ト併セテ考急ヲ能ク考ヘテ出來ルダケ緊縮シテ行キタイト言明サレタノデアリマス、其ノ他產業題、稅務官廳ノ納稅者ニ對スル態度ノ問題、將來ノ金利政策並ニ金融統制ノ問題、官營事業ノ拂下ノ問題等ニ付キマシテ極メテ有益ナル質問應答ガ行ハレタノデアリマス、

ト農村及動產ト不動產トノ間ノ負擔ノ均衡トノ關係、公債消化ノ見透シノ問題等根柢制度ヲ維持セザルベカラザル立場ヨリ見本論ニ付テモ興味アル意見ノ交換ガ行ハレタノデアリマス、次ニ各稅ニ關スル質疑應答ニ付テ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、相續稅ニ付キマシテハ、我ガ國ノ獨得ナル家財產ヲ處分セヤウナコトニナル、政府ハ不動產、殊ニ最モ困難ヲ感ズル山林ノ如キモノ等ハ稅務官廳ノ評價ノヤウニ高クハ處分方テ居ルノデハナイカ、又相續稅ヲ納メル爲出來ナイ、其ノ爲ニ非常ナ打撃ヲ受ケテ、時ニ依ルト相續稅ヲ掛ケラレタ爲ニ家ノ維持ガ出來ヌヤウナコトニナル、政府ハ不動產ニ付テハ物納ヲ認メル意思ハナイカ、又不動物ノ評價ニ付テハ處分ノ出來ル程度ノ價格ニ評價スルノガ適當デハナイカト云フヤウナ質問ガ、多クノ委員カラ最モ熱心ニ發セラレタノデアリマス、之ニ對シ政府ハ家族制度ノ維持ト云フコトニ付テハ全ク同感デアル、從ツテ我ガ國ノ相續稅ハ、諸外國ノ相續稅トハ自ラ違フモノデアルコトハ認メル、唯今回ノ増徴ハソレ程キツイモノトハ思ハナ問題デアルガ、相續稅ガドウシテモ不動產ニ重クナルコトハ之ヲ認メルカラ、不動產評價ノ問題ト共ニ、是等ノコトハ十分研究シテ見ルト云フコトハナカヽ＼困難ナ問題デアルガ、相續稅ガドウシテモ不動產ニ重クナルコトハ之ヲ認メルカラ、不動產評價ノ問題ト共ニ、是等ノコトハ十分研究シテ見ルト云フ答辯デアリマシタ、次ニ所得稅ニ付キマシテハ、法人ノ配當所得ニ對スル課稅ト、個人ノ配當ニ對スル課稅トハ重複スルノデハナイカ、殊ニ今回個人ノ配權衡ヲ得ザルモノデハナイカト云フ質問ガアツクノデアリマス、之ニ對シ政府ヨリ、會社ニ對スル課稅ト個人ノ配當ニ對スル課稅ト

ハ重複スル性質ノモノトヘ考ヘナイ、唯借金ニ依ツテ株式ヲ取得スル人モ居ルノデアルカラ、其ノ邊ヲ考慮シテ二割ノ控除ヲ認メタト云フ言明デアリマシタ、之ニ關聯シテ株式配當ヲ源泉課税ニシテハドウカト云フ質問ガアリマシタガ、政府ハ、ソレハムヅカシイト思フケレドモ、尙考ヘテ見ルト云フ答辯デアリマシタ、其ノ他現在稅務官廳ノ認メル減價償却ノ制度ハ、產業ノ現狀ニ適セヌデハナイカトノ質問ガアリ、政府ハ此ノ機會ニ於テ適當ニ改正スル意思ガアルト云フコトヲ明言サレマシタ、又同族會社ノ加算規定ノ適用ニ付テ、政府ハ其ノ範圍ヲ廣ク解シ過ギテ產業ヲ壓迫シハセヌカト云フ問ニ對シ、法人ノ稅額ガ相當ニ増徵セラレルノデアルガ、増稅後ニ於テハ適當ニ考慮スルト云フ言明ガアリマシタ、次ニ臨時利得稅ニ關シマシテハ、是ガ年限ヲ限ラレタ臨時のノモノデアルニモ拘ラズ、今回稅率ヲ引上げテ、更ニ一年施行期間ヲ延長シタノベドウ云フ譯デアルカ、此ノ稅ト超過所得稅トハ重複スルデハナイカト云フヤウナコトガ論議サレタノデアリマスガ、政府ハ次ノ機會ニ再檢討ヲ加ヘ、適當ニ解決ヲ試ミタトイト云フコトヲ答ヘラレタノデアリマス、次ニ有價證券移轉稅ニ付キマンテハ、是ガ不動產ノ移轉ニ對スル權衡上創設セラレタコトハ異議ガナイケレドモ、課稅ノ實際ニ於テ有價證券ノ實物取引ヲ阻害シ、我ガ國產業發展ニ影響ヲ及スコトナキヤウ、次ノ根本的改正ノ際ニハ十分檢討ヲ加ヘラレタイトノ希望ガ委員ノ中ニアッタノデアリマス、法人資本稅、外貨債特別稅、酒稅、取引所取引稅、揮發油稅等ニ付キマシテモ、各種ノ問題ガ論議セラレタノデアリマスガ、尙將來ノ稅制改正ニ際シテハ、個人財產稅、シマシテハ、大藏大臣ヨリ考ヘテハ見ルガ、多分是等ノ稅ヲ起スコトハアルマイト云フ

御答ヲ得タノデアリマス、次ニ一言致シテ
イコトハ、衆議院ノ修正並附帶決議ニ對ス
ル政府ノ意見デアリマス、大藏大臣ハ衆議
院ノ修正ハ相當歳入ニ減少ヲ來スコトデモ
アリ、遽カニ同意ハ致シカネル、併シ若シ
貴族院ニ於テ衆議院ノ修正通リ議決セラル
ルナラバ、歳入ノ減少ニ對シテハ適當ノ方
法ヲ講ズルト申サレマシタ、尙附帶決議ニ
關シマシテハ、各稅ニ關スルモノニハ隨分
困難ト思ハル、モノモアルケレドモ、十分
研究シテ見ル、又稅制改正ノ際ニハ官民ノ
意思ヲ繕メル方法ヲ講ジテ見タイ、稅務官
廳ノ職權濫用ト云フヤウナコトハ十分訓戒
シテ、サウ云フコトノナイヤウニスルト
申サレタノデアリマス、以上ガ委員會ニ於
ケル質問應答ノ大要デアリマス、尙詳細ハ
速記録ニ依リ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、
斯クテ委員會ハ此ノ法律案ヲ如何ニ取扱フ
ベキカラ、慎重ニ協議致シマシタ、御承知ノ
通リ今回ノ案ハ現内閣ガ組閣早々短時日ノ
間ニ作成セラレタノデアリマシテ、我々ト
シテモ意ニ満タヌ點ガ多アアルノデアリマ
ス、併シナガラ財政ノ現況ニ照ラシマシテ、
増稅ノ必要ナルコトハ之ヲ認メナケレバナ
ラナイ次第デアリマス、又政府ニ於テモ今
回ノ案ハ暫定的應急的ノモノデアツテ、更ニ
中央、地方ヲ通ズル根本的ノ稅制ノ整理ヲ
實現スルト云フコトヲ明言セラレテ居ルノ
デアリマスカラ、暫定的ト云フ意味ニ於テ
此ノ案ヲ認メル外アルマイト云フコトニナッ
タノデアリマス、又衆議院ノ修正ニ付キマ
シテハ、政府ノ原案ト比較致シマシテ必ズ
シモ適當トハ言ヒ得ヌ點モアルノデアリマ
ス、即チ有價證券移轉稅ニ付キマシテ、營
利ヲ目的トセザル法人ニ免稅スルコトニ致
シマシタノハ、不動產登稅ト比較致シマ
シテ合理的デナイ嫌ガアルト思ヘレマス、
併シナガラ會期切迫ノ折モアリ、追ッテ稅
制ノ整理モアルコトデアルカラ、強ヒテ此

ノ際再修正ヲスル程ノコトモナイト考ヘマ
シテ、此ノ衆議院ノ修正シマシタ案ヲ認メ
ル方ガ宜シカラウト云フコトニナリマシテ
貴族院ニ於テ衆議院ノ修正通リ議決セラル
ルナラバ、歲入ノ減少ニ對シテハ適當ノ方
法ヲ講ズルト申サレマシタ、尙附帶決議ニ
關シマシテハ、各稅ニ關スルモノニハ隨分
困難ト思ハル、モノモアルケレドモ、十分
研究シテ見ル、又稅制改正ノ際ニハ官民ノ
意思ヲ繕メル方法ヲ講ジテ見タイ、稅務官
廳ノ職權濫用ト云フヤウナコトハ十分訓戒
シテ、サウ云フコトノナイヤウニスルト
申サレタノデアリマス、以上ガ委員會ニ於
ケル質問應答ノ大要デアリマス、尙詳細ハ
速記録ニ依リ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、
斯クテ委員會ハ此ノ法律案ヲ如何ニ取扱フ
ベキカラ、慎重ニ協議致シマシタ、御承知ノ
通リ今回ノ案ハ現内閣ガ組閣早々短時日ノ
間ニ作成セラレタノデアリマシテ、我々ト
シテモ意ニ満タヌ點ガ多アアルノデアリマ
ス、併シナガラ財政ノ現況ニ照ラシマシテ、
増稅ノ必要ナルコトハ之ヲ認メナケレバナ
ラナイ次第デアリマス、又政府ニ於テモ今
回ノ案ハ暫定的應急的ノモノデアツテ、更ニ
中央、地方ヲ通ズル根本的ノ稅制ノ整理ヲ
實現スルト云フコトヲ明言セラレテ居ルノ
デアリマスカラ、暫定的ト云フ意味ニ於テ
此ノ案ヲ認メル外アルマイト云フコトニナッ
タノデアリマス、又衆議院ノ修正ニ付キマ
シテハ、政府ノ原案ト比較致シマシテ必ズ
シモ適當トハ言ヒ得ヌ點モアルノデアリマ
ス、即チ有價證券移轉稅ニ付キマシテ、營
利ヲ目的トセザル法人ニ免稅スルコトニ致
シマシタノハ、不動產登稅ト比較致シマ
シテ合理的デナイ嫌ガアルト思ヘレマス、
併シナガラ會期切迫ノ折モアリ、追ッテ稅
制ノ整理モアルコトデアルカラ、強ヒテ此

ノ際再修正ヲスル程ノコトモナイト考ヘマ
シテ、此ノ衆議院ノ修正シマシタ案ヲ認メ
ル方ガ宜シカラウト云フコトニナリマシテ
貴族院ニ於テ衆議院ノ修正通リ議決セラル
ルナラバ、歲入ノ減少ニ對シテハ適當ノ方
法ヲ講ズルト申サレマシタ、尙附帶決議ニ
關シマシテハ、各稅ニ關スルモノニハ隨分
困難ト思ハル、モノモアルケレドモ、十分
研究シテ見ル、又稅制改正ノ際ニハ官民ノ
意思ヲ繕メル方法ヲ講ジテ見タイ、稅務官
廳ノ職權濫用ト云フヤウナコトハ十分訓戒
シテ、サウ云フコトノナイヤウニスルト
申サレタノデアリマス、以上ガ委員會ニ於
ケル質問應答ノ大要デアリマス、尙詳細ハ
速記録ニ依リ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、
斯クテ委員會ハ此ノ法律案ヲ如何ニ取扱フ
ベキカラ、慎重ニ協議致シマシタ、御承知ノ
通リ今回ノ案ハ現内閣ガ組閣早々短時日ノ
間ニ作成セラレタノデアリマシテ、我々ト
シテモ意ニ満タヌ點ガ多アアルノデアリマ
ス、併シナガラ財政ノ現況ニ照ラシマシテ、
増稅ノ必要ナルコトハ之ヲ認メナケレバナ
ラナイ次第デアリマス、又政府ニ於テモ今
回ノ案ハ暫定的應急的ノモノデアツテ、更ニ
中央、地方ヲ通ズル根本的ノ稅制ノ整理ヲ
實現スルト云フコトヲ明言セラレテ居ルノ
デアリマスカラ、暫定的ト云フ意味ニ於テ
此ノ案ヲ認メル外アルマイト云フコトニナッ
タノデアリマス、又衆議院ノ修正ニ付キマ
シテハ、政府ノ原案ト比較致シマシテ必ズ
シモ適當トハ言ヒ得ヌ點モアルノデアリマ
ス、即チ有價證券移轉稅ニ付キマシテ、營
利ヲ目的トセザル法人ニ免稅スルコトニ致
シマシタノハ、不動產登稅ト比較致シマ
シテ合理的デナイ嫌ガアルト思ヘレマス、
併シナガラ會期切迫ノ折モアリ、追ッテ稅
制ノ整理モアルコトデアルカラ、強ヒテ此

ノ際再修正ヲスル程ノコトモナイト考ヘマ
シテ、此ノ衆議院ノ修正シマシタ案ヲ認メ
ル方ガ宜シカラウト云フコトニナリマシテ
貴族院ニ於テ衆議院ノ修正通リ議決セラル
ルナラバ、歲入ノ減少ニ對シテハ適當ノ方
法ヲ講ズルト申サレマシタ、尙附帶決議ニ
關シマシテハ、各稅ニ關スルモノニハ隨分
困難ト思ハル、モノモアルケレドモ、十分
研究シテ見ル、又稅制改正ノ際ニハ官民ノ
意思ヲ繕メル方法ヲ講ジテ見タイ、稅務官
廳ノ職權濫用ト云フヤウナコトハ十分訓戒
シテ、サウ云フコトノナイヤウニスルト
申サレタノデアリマス、以上ガ委員會ニ於
ケル質問應答ノ大要デアリマス、尙詳細ハ
速記録ニ依リ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、
斯クテ委員會ハ此ノ法律案ヲ如何ニ取扱フ
ベキカラ、慎重ニ協議致シマシタ、御承知ノ
通リ今回ノ案ハ現内閣ガ組閣早々短時日ノ
間ニ作成セラレタノデアリマシテ、我々ト
シテモ意ニ満タヌ點ガ多アアルノデアリマ
ス、併シナガラ財政ノ現況ニ照ラシマシテ、
増稅ノ必要ナルコトハ之ヲ認メナケレバナ
ラナイ次第デアリマス、又政府ニ於テモ今
回ノ案ハ暫定的應急的ノモノデアツテ、更ニ
中央、地方ヲ通ズル根本的ノ稅制ノ整理ヲ
實現スルト云フコトヲ明言セラレテ居ルノ
デアリマスカラ、暫定的ト云フ意味ニ於テ
此ノ案ヲ認メル外アルマイト云フコトニナッ
タノデアリマス、又衆議院ノ修正ニ付キマ
シテハ、政府ノ原案ト比較致シマシテ必ズ
シモ適當トハ言ヒ得ヌ點モアルノデアリマ
ス、即チ有價證券移轉稅ニ付キマシテ、營
利ヲ目的トセザル法人ニ免稅スルコトニ致
シマシタノハ、不動產登稅ト比較致シマ
シテ合理的デナイ嫌ガアルト思ヘレマス、
併シナガラ會期切迫ノ折モアリ、追ッテ稅
制ノ整理モアルコトデアルカラ、強ヒテ此

ヲ阻害セザルト同時ニ、國民大衆ノ生活ヲ
キデアリマス、是等ノ點ニ付テハ委員長
ノ報告モアリマスノデ、私ハ細カク之ニ言
及致シマセヌ、唯私ノ深キ關心ヲ持ツコ
トヲ禁ジ得ナイノヘ、今後近キ將來ニ於
テ、更ニ稅額ノ増加ヲ必要トスルヤ否ヤ
ト云フコトデアリマス、ソレニ依ツテ國民
ガ如何ナル覺悟ヲ爲スベキヤト云フコトモ
亦變ツテ來ルノデアリマス、今度增稅ガドレ
ダケ必要ニナルカ知レナイト云フノデハ、
新シキ事態ニ應ジテ如何ニ善處スベキヤノ
考ヲ立テルコトガ出來マセヌカラ、甚ダシ
キ不安ニ襲ハレザルヲ得ヌノデアリマス、
又此ノ上増稅ハシナイガ、入用ノ經費ハ國
債ノ發行ニ依ツテ支辨スルト云フノデハ、所
謂國債消化ノ行詰リニ依ル經濟上ノ混亂ヲ
來シマスカラ、是亦不安ヲ免レナイノデア
リマス、ソコデ問題ハ一般財政計畫、國策
遂行ノ計畫ニ觸レテ來ルノデアリマス、遠
キ將來ニ瓦ル豫定ノ計畫ヲ求メルノハ無理
デアルト云フコトハ勿論デアリマス、又測
ルベカラザル事變ノ起ルコトニ付テハ、何
人ト雖モ豫メ之ヲ保證スルコトノ出來ナイ
ノハ申ス迄モアリマセヌ、若シ外來ノ壓迫
ニ依ツテ國家ノ危機ヲ生ズルガ如キコトガ
アリマシタナラバ、我ガ國民ハ總テノモノ
ヲ犠牲トシテ之ニ當ルノ覺悟アルベキコト
ヲ私ハ疑ヒマセヌ、唯現在ノ情勢ヲ根據ト
シテ、近キ將來ニ對スル政府當局ノ見込ハ
如何デアリマスカ、又如何ナル目標ヲ以テ
國防、外交、經濟ノ調和ヲ圖ラル、意嚮デ
アリマスカ、之ニ基イテ將來ノ稅額ニ關ス
ル豫測ハドウナルノデアリマスカ、是ハ國
民ニ知ラセテ置カネレバナラヌコトと思
フノデアリマス、私ハ以上述ベマシタヤウ
ナ心組ヲ以テ委員會ニ於テ質問ヲ致シタノ
デアリマスガ、之ニ對シテ大藏大臣カラ頗

貴族院議事速記録第二十五號 臨時租稅增徵法
ル詳細ニ瓦ツタ答辯説明ヲ得タノデアリマス、其ノ中私ノ質問ニ當ル言葉ヲ拾ツテ見マスト、先づ國債ノ發行ニ關シテハ、國債ノ消化ト云フモノハナカニ樂觀ヲ許サナシ、政費ノ足リナイ所ハ幾ラデモ公債ニ依ツテ支辨シテ行クト云フヤウナ考ハ持ツベキモノデナイト言ハレマシタ、又國費ノ大部分ヲ占ムル所ノ國防費ニ關シテ、將來增加ノ一方デアッテ減縮スルコトハムヅカシイガ、外交手段或ハ國際情勢ノ緩和ニ依ツテ、努メテ軍事費其ノ他ノ政費ヲ膨脹セシメナイヤウニ心掛ケテ行クト言ハレマシタ、ドンナコトガアッテモ戦争ノ起ラナイヤウニ外交ノ方針ヲ執ルト云フコトハ何人モ考ヘ得ナイデアリマセウ、併シ外交上ノ手段ニ依ツテ國防必要ノ程度ヲ緩和スルノ餘地モアルベキコトヲ大藏大臣ハ認メラレタモノト解釋シテ宜シヤウデアリマス、又大藏大臣ハ斯ウ云フ答辯ヲセラレテ居リマス、國力ニ相應シタダケノ國防ノ充實ヲヤツテ行ケルヤウニ、軍事當局ノ方デモ經濟力、財政狀況ニ付テ理解ヲ持チ、財政當局ノ方デモ國防ノ最少限度ニ對スル理解ヲ持チ、話合ツテ豫算ヲ作ツテ行クト云フコトデアリマス、此ノ頃軍部ト財界ト理解シ合フト云フ言葉ガ用ヒラマンテ、之ニ對シテ或人ハ、其ノ意味ハ財界ハ陸海軍ノ言ハレル儘ニ軍事費ヲ認メ、政府ハ專ラ財界ノ便宜ヲ圖ルト云フ意味ダト、斯ウ云フ風ニ解スル人モアルヤウデアリマスガ、大藏大臣ノ言明ニ依レバ、其ノ目標ハ國力ニ相應シタダケノ國防ヲ充實スルニアルト云フコトヲ認メ得ルノデアリマス、而シテ只今ノ情勢ニ變化ガナイ以上ハ避ケナケレバナラヌトスウ言ハレマシタ、其ノ中間ニ、絶対ト云フ言葉ヲ使ツテモ宜シイダラウト思フ

法案外五件 第二、三讀會 地方鐵道補助法中
ト云フコトヲ挿マレマシタ、ソレデ今後ノ
稅ニ關スル政府ノ意圖ガ大イニ明カニナリ
マシタ、又一般財政計畫、國策遂行ノ計畫
ニ及ブ所ノ其ノ根據モ略、推察スルコトガ
出來ルノデアリマシテ、私ハ之ニ信賴シテ、
茲ニ本案ニ對スル贊意ヲ表スルモノデアリ
マス

○議長（公爵近衛文麿君） 是ニテ討論ヲ終
リマス、以上六案ノ第二讀會ヲ開クコトニ
御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵近衛文麿君） 御異議ナシト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ六案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長（公爵近衛文麿君） 直チニ第二讀會
ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵近衛文麿君） 御異議ナシト認
メマス

○議長（公爵近衛文麿君） 六案全部、委員
長ノ報告通リテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵近衛文麿君） 御異議ナシト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長（公爵近衛文麿君） 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵近衛文麿君） 御異議ナシト認
メマス

○議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナシト認
メマス

○議長（公爵近衛文麿君）　日程第七、地方
鐵道補助法中改正法律案、日程第八、横莊
鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公
債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院
送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ
兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハ
ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナシト認
メマス、委員長岩倉公爵

地方鐵道補助法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十二年三月二十六日

　　委員長　公爵岩倉　具榮

貴族院議長公爵近衛文麿殿

横莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買
收ノ爲公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十二年三月二十六日

　　委員長　公爵岩倉　具榮

貴族院議長公爵近衛文麿殿

〔公爵岩倉具榮君演壇ニ登ル〕

○公爵岩倉具榮君　只今議題トナリマシク
地方鐵道補助法中改正法律案、並ニ地方鐵
道買收ニ關スル法律案ノ特別委員會ニ於ケ
ル審議ノ経過及結果ヲ御報告申上ガマス、
先づ地方鐵道補助法中改正法律案ハ、地方
鐵道ノ普及發達ヲ目的トスル現行補助制度
ヲ改メ、交通情勢ノ變化ニ適應スルヤウ地
方鐵道ノ運營ヲ保持シ、效用ヲ増進セシム
ルコトヲ目的トスル新補助制度ヲ設ケムト

文部省所管歲入經常部第一款官立大學第三項諸收入中文化部及岡山醫科大學ノ徵收ニ至ラサル件
昭和十年度各特別會計歲入歲出決算遞信省所管通信事業用品勘定歲出第一款通信事業用品及工作費中遞信省經理局ノ支出ニ係ル件
同上業務勘定歲入第一款通信業務收入第四項雜收入中東京遞信局ニ於テ歲入ニ編入スヘキ件、歲出第一款通信業務費第二項業務費中東京遞信局ノ支出ニ係ル件
同上簡易生命保險歲出第一款簡易生命保險費第二項事業費中簡易保險局ノ支出ニ係ル件
昭和十年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設改良及自動車線設備費第二項鐵道改良費中鐵道省ノ支出ニ係ル件
同上用品勘定歲出第一款用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道省ノ支出ニ係ル件
同上收益勘定歲出第一款作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係ル件
昭和十年度各特別會計歲入歲出決算拓務省所管朝鮮總督府歲出臨時部第四款補助及獎勵費第七項私設鐵道補助中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件
同上朝鮮鐵道用品資金歲出第一款朝鮮鐵道用品費第一項用品及工作費中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件
昭和十年度各特別會計歲入歲出決算拓務省所管臺灣總督府歲入經常部第一款租稅第二項所得稅中高雄州ノ徵收不足ニ係ル件、歲出經常部第十四款專賣局第三項專賣品補償及購買費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル件

事速記錄第二十五號 昭和十一年度歲入
昭和十一年度各特別會計歲入歲出決算
拓務省所管樺太廳歲入經常部第一款
租稅第二項所得稅中樺太廳敷香支廳
ノ徵收不足ニ係ル件、第三項營業收益
稅中樺太廳敷香支廳ノ徵收不足ニ係
ル件、歲入臨時部第三款臨時利得稅
第一項臨時利得稅中樺太廳敷香支廳
ノ徵收不足ニ係ル件、歲出臨時部第
一款營業王木費第二項工事費中樺太
廳ノ支出ニ係ル件、第三款樺太拓殖
事業費第二項道路改良費中樺太廳ノ
支出ニ係ル件、第三項鐵道建設費中
樺太廳鐵道事務所ノ支出ニ係ル件、
第四項鐵道改良費中樺太廳鐵道事務
所ノ支出ニ係ル件、第五項港灣修築
費中樺太廳ノ支出ニ係ル件、第六項
船澗修築費中樺太廳ノ支出ニ係ル
件、第七項船澗改良費中樺太廳ノ支
出ニ係ル件第五款災害費第一項大泊
港驛火災復舊及新營費中樺太廳鐵道
事務所ノ支出ニ係ル件
昭和十一年度各特別會計歲入歲出決算
拓務省所管南洋廳歲出經常部第一款
南洋廳第三項事業費中南洋廳ノ支出
ニ係ル件
官有物中造幣局ニ於テ精製依頼ニ係
ル輸納地金ノ品位決定ニ當リ其ノ措
置宜シキヲ得スシテ据置運轉資本用
地金ニ缺減ヲ來シタル件
昭和三年度歲入歲出總決算歲入經常
部第一款租稅第一項所得稅中橫濱稅
務署ノ徵收過ニ係ル件、第三項營業
收益稅中橫濱稅務署ノ徵收過ニ係ル
件
昭和四年度歲入歲出總決算歲入經常
部第一款租稅第一項所得稅中橫濱稅
務署ノ徵收過ニ係ル件、第三項營業
收益稅中橫濱稅務署ノ徵收過ニ係ル

報告外一件會議三二

拓務省所管臺灣總督府歲入經常部第一款租稅第二項所得稅中臺中州ノ徵收ニ係ル件

昭和八年度各特別會計歲入歲出決算
拓務省所管樺太廳歲入經常部第一款
租稅第二項所得稅中樺太廳大泊支廳
ノ徵收不足ニ係ル件、第三項營業收

益稅中樺太廳大泊支廳ノ徵收不足ニ
係ル件

昭和九年度歲入歲出總決算歲入經常
部第一款租稅第一項所得稅中神田橋
外五稅務署、上川稅務署ノ徵收不足
ニ係ルモノ二件、南稅務署、永代橋

稅務署、淡橋稅務署、東稅務署ノ徵
收過ニ係ルモノ四件、第三項營業收

益稅中上川稅務署ノ徵收不足ニ係ル
件、南稅務署ノ徵收過ニ係ル件、第

十二項關稅中神戶稅關ノ徵收不足ニ
係ル件

昭和九年度各特別會計歲入歲出決算
文部省所管學校及圖書館歲出經常部

第一款學校及圖書館第二項校館費中
東京高等商船學校ノ支出ニ係ル件

昭和九年度各特別會計歲入歲出決算
拓務省所管臺灣總督府歲出經常部第

十四款專賣局第三項專賣品補償及購
買費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係
ル件

昭和九年度各特別會計歲入歲出決算
拓務省所管樺太廳歲入經常部第一款
租稅第二項所得稅中樺太廳大泊支廳
ノ徵收不足ニ係ル件、第三項營業收

益稅中樺太廳大泊支廳ノ徵收不足ニ
係ル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモ
ノト認ム

第三
其ノ他異議ナシ
右ノ通議決セリ依テ及報告候也

昭和十二年三月十八日

委員長 男爵東久世秀雄

昭和十年度國有財產增減總計算書ヲ審査シ

第一

鐵道省ニ於テ東京市芝園所在國有土地ト京濱電氣鐵道株式會社有地トノ交換ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得サル件

(既往年度)
名古屋稅務監督局ノ徵收ニ係ル長野
縣北佐久郡輕井澤町所在國有土地ヲ
隨意契約ヲ以テ賣拂ヒヲ爲シタル件
右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモ
　　ノト認ム

第一

右ノ通議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月十八日

貴族院議長公爵近衛文麿殿 委員長 男爵東久世秀三

卷之三

〔男爵東久世秀雄君演壇ニ登ル〕

久世秀雄君 只今議題トカリマシ

昭和十年度歳入歳出ノ決算、並ニ同年度ノ

有財産ノ増減ノ總計算書ニ付キマシテ、

員會ノ御報告ヲ申上ゲマス、去ル六十九

會ノ決算委員會ニ於キマシテ、此ノ決算

査方針ニ付キマシテ御議論ガゴザイマ

ノデ、今回委員會ノ初ニ於キマシテ、

ノ審査方針ヲ議題ト致シマシテ審議ヲ致

シタ、從來取扱ツテ居リマシタ審査ノ方

四ツノ項目ニ相成ツテ居リマスル、第一

政府ノ措置ガ不當デアルト認ムルモノ、

之ニ對シテハ決議文ヲ附加ヘテ居リマス、
第二ハ政府ノ處置が穩當ヲ缺クモノト認ム
ルモノ、第三ハ政府ニ對シテ將來ノ注意ヲ

官報號外 昭和十二年三月二十八日

昭和十二年三月二十八日

貴族院議事速記錄第二十五號

昭和十年度歳入

八歲出總決算、昭和十年度各特別會計歲入歲出決算報告外一件

會議三二二

促スベキモノ、第四ニハ異議ナシト認ムルモノト、斯様ニ相成ツテ居リマス、此ノ四ツノ項目ニ一項目ヲ加ヘマシテ、今回ハ五ツノ項目ト致シマシタ、即チ第二ト致シマシテ、政府ノ措置穩當ヲ缺クヲ以テ特ニ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認ムト云フノヲ字句ヲ改正ヲ致シマシテ、政府ノ措置適切ナラザルモノト認ム、斯様ニ致シマシテ、議決決定ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、次ニ昭和十年度ノ歳入歳出ノ總決算ニ付テ申上ゲマス、歲入ノ決算額ハ經常部ニ於キマシテ十四億五百餘萬圓、臨時部ニ於キマシテ八億五千三百餘萬圓、合計致シマスルト、二十二億五千九百餘萬圓デゴザイマス、之ニ對シマシテ歲出ノ決算額ハ經常部ニ於キマシテ十二億六百餘萬圓デゴザイマス、歲入歳出ヲ差引キマスルト五千二百餘萬圓ノ剩餘ヲ生ズル計算デゴザイマス、此ノ剩餘金カラ致シマシテ、昭和十一年度ニ繰越シマシテ、財源ニ充てマスル金額ガ五千八千餘萬圓ゴザイマシテ、之ヲ差引キマスト、結局昭和十一年度ニ於キマスル一般會計ノ純剩餘金ハ百九千餘萬圓ト相成ル計算デゴザイマス、此ノ外ニ特別會計ノ三十四會計デゴザイマス、此ノ決算ノ金額ハ一々申述ペマスルコトハ煩雜ニ瓦リマスルカラ、決算書ニ依ッテ御承知ヲ戴キマシテ、茲ニ申上ガルコトヲ省略致シタイト思ヒマス、次ニ國有財產ノ増減總計算書ニ付テ申上ゲマス、昭和十一年度中ニ於キマシテ增加致シマシタ國有財產ヘ、一般會計ニ於キマシテ四億七千八百餘萬圓、特別會計ニ於キマシテ五億三千六百餘萬圓、合計致シマシテ十億千五百餘萬圓デ、減少致シマシタ國有財產ハ一般會計ニ

ニ於キマシテ三億三千四百餘萬圓、特別會ニシマシテ七億三千百餘萬圓デゴザイマ、此ノ増加ト減少トヲ差引キ致シマス、ト、結局昭和十年度ニ於キマシテノ國有財產ハ、二億六千三百餘萬圓ト相成リマス、此ノ減ノ理由ニ付キマシテハ煩雜ニ至リマス、カラ此處デハ申上ゲマセヌ、決算委員會去ル二日ニ第一回ノ開會ヲ致シマシテ、政府カラ一般ノ説明ヲ聽取リマシテ、決算各分科ニ付託ヲ致シマシタ、國有財產増減書ハ先例ニ依リマシテ小委員ヲ選ビマテ、小委員會ニ付託ヲ致シマシタ、分科審査ニ小委員會ハ種々質疑應答ノ後慎重ニ審査ヲ盡サレマシテ、去ル十六日ニ各分科主査竝ニ小委員會ノ委員長ヨリ致シマシテ、小委員會ニ付託ヲ致シマシテ、全般報告通リ決定ヲ致シマシタ、只今御手許廻ツテ居リマスル報告書ヲ提出致シマシテ、ノデゴザイマス、是ヨリ審査ノ結果ヲ申ダガマスレバ、政府ノ措置適切ナラザルモノト議決致シマシタモノガ三件ゴザイマス、即チ第一ハ歳入ノ經費部ニ於キマシテ租税外ノ歳入ノ徵收ニ關シマシテ、措置宜シマスレバ、政府ノ措置適切ナラザルモノト議決致シマシタモノガ三件ゴザイマス、代金ノ徵收ノ爲ニ適當ナル處置ヲ施サナカニ得ナカツタモノデゴザイマシテ、大阪ノ業務所ガ、同所デ製造致シマスル品ヲ林何某シマシテ、又ハ保證金ヲ納メサセルトカラ件デゴザイマス、第二ハ鐵道省ノ資本定ニ於キマシテ、必要以上ニ巨額ノ公債

件ハ、關係ノ各官廳ト協議ノ結果ガ纏リマシテ、本年ノ四月ノ一日ヨリ施行セラレルコトト相成リマシタ、近々ニ其ノ勅令ガ公布セラレル豫定デゴザイマス、從ヒマシテ十二年度ノ豫算ニ於キマシテ、其ノ經費ト致シマシテ三十四萬六千餘圓ヲ今議會ニ提出シテアル趣デアリマス、終リニ一委員ヨリ致サレマシテ、政府ニ對シマシテ希望ヲ申述ベラレマシタ、ソレハ國有財產ヲモット利用シテ、此ノ財政難ノ時ニ於テ相當ノ收入ヲ圖ラレテハドウデアラウカ、尙其ノ爲ニ國有財產ヲ取扱ツテ居ル機關ヲ擴張セラレテハドウデアラウカト云フ御議論モアリマシタ、之ニ對シテ政府モ答辯ヲ致サレテ居リマス、以上ヲ以チマシテ、甚ダ簡単デゴザイマスルガ決算委員會ノ報告ヲ終ルコトニ致シマス

○議長(公爵近衛文麿君) 以上二件トモ、決算委員長ノ報告通リテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、日程ハ是ニテ全部終了致シマシタ

○議長(公爵近衛文麿君) 本日鶴澤總明君ヨリ都合ニ依リ、國民健康保險法案特別委員辭任ノ申出ガアリマシタ、之ヲ許スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、其ノ補闕トシテ佐藤三吉君ヲ指名致シマス、次會ノ日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時二十三分散會